実践例　益子町立益子小学校

教科・科目等　社会科（６学年　32 名）

本時の目標

藩校や寺子屋において、子どもの教育がさかんに行われたことが江戸時代の町人文化を栄えさせ、新しい学問が起こったことにつながることを理解することができる。

育てたい資質・能力等

寺子屋と藩校と比較し、江戸時代の教育に男女格差が存在していたことを知る。（知性）
江戸時代の寺子屋には、女性も通うことができ、教育を受けることができたことを知る。（知性）

教材　・初代歌川豊国「寺子屋書初」　国立国会図書館デジタルコレクション

展開

●識字率の意味を知り、現代日本ではほぼ１００％であることを知る。
●江戸時代後期の江戸の識字率を予想し、７０％程度であることを知る。
●町人の子どもが通う寺子屋の存在を知り、寺子屋には女の子も通うことができたかについて考える。
●提示された寺子屋の資料から、寺子屋では女性の先生も存在し、女の子も通っていたことを読み取る。
●寺子屋や藩校での学習により識字率が高まり、江戸時代の発展につながったことを理解する。

活用した学習教材
初代歌川豊国「寺子屋書初」
（国立国会図書館
デジタルコレクション）

児童の感想